

令和3年度 学校経営方針

練馬区立豊玉南小学校
校長 風見由起夫

1 はじめに

教育基本法の理念のもと、基礎教育を担う小学校教育の使命を自覚し、児童の健やかな成長を期し、その実現のための指導・支援に力を尽くす。また、「練馬区教育振興基本計画」の基本理念・教育施策を踏まえ、地域の学校として「信頼」を得るよう学校経営・運営を教職員が連携し推し進める。

※「練馬区教育振興基本計画」

～地域の絆で育む「心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供」～

2 めざす子ども像 「気付く目 感じる心 すすんだ行い」

教育目標

社会の変化に主体的に対応し、国際人として世界の人々から信頼と尊敬を得られる、心身ともに健康で人間性豊かで調和のとれた人間形成を目指す。

- 考える子・・・・・・・・重点目標
- 思いやりのある子
- 元気な子

3 めざす学校 新しい時代へ はばたく豊南

～ チャンス・チャレンジ・チェンジ ～

(1) 豊南小の子どもたちが生き生きと全力で学習・活動できる学校にする。

- 「めあて、問題、見通し、自力解決、共有・再考、まとめ、適用」の段階をはっきりさせた授業により、自ら考え自ら学ぶ学習、互いに学び合う学習を行っている。
- 各種学校行事に、学年の発達段階に応じためあてをもち、子ども自身が役割を自覚し取り組んでいる。
- 児童自らが健康に関心をもち、自己の課題を把握しながら体力の向上を図っている。

(2) 豊南小が学びの場にふさわしい教育環境の整った学校にする。

- 全教職員で学年・学級に関係なく全児童を指導している。
 - ※ 学年内の教科交換等を積極的に行って構わない
- 計画 (Plan)、実行 (Do)、評価 (See)、改善 (Action) を日常化している。
 - ※ あわせて、勤務時間を削減している [超過勤務月 40 時間以下]
- ICT機器の環境を整備し、考えを深めるための手段として活用している。
 - タブレットパソコン、デジタル教科書 [国語、社会(5・6年)、算数]
- 算数では習熟度別少人数指導、他の教科についても、個に応じた指導を徹底している。
- 問題行動等に迅速かつ、組織的に対応している。
 - 一人で抱え込まない、抱え込ませない、独断させない。

(3) 家庭・地域に理解され、協力を得て信頼される学校にする。

- 教育活動をいつでも公開している。
- 教育方針や学校の取り組みを積極的に伝えている。
(学校だより、学校ホームページ、廊下掲示、教室掲示)
- 内部(教師・保護者・児童)及び外部の評価(意見)をもとに学校改革を推進している。
- 家庭・地域と協力・連携し、安全対策に取り組んでいる。
- P T A行事、地域行事などに積極的に参加している。
(トミーズまつり、ふれあい広場)

(4) 職員が互いに高めあい、協働する学校にする。

- 学校・学級を開き、いつでも誰にでも授業を公開している。
- 実践を通して謙虚に学び合い、厳しく切磋琢磨している。
- 校内研究で学んだことや教育会(区教研)、研修センターで学んだことを実践にかそうとしている。

(5) 児童、教職員、保護者、地域が誇りにできる学校にする。

※「あまり知られてないけれど日本で一番いい学校だよ」おひさまマーチより

- 開校60周年行事を通して、保護者、地域との連携を深めている。
- 「あいさつ」がかようことが連携になる

4 中期経営目標

○確かな学力の向上

目標：学力調査の成績分布にみられる下層群の引き上げる

- ・学習規律の定着
- ・タブレットを活用した学習活動の実践
- ・思考ツールの活用
- ・少人数指導、個に応じた指導の推進
- ・効果的な朝学習の実施
- ・家庭学習の実施と定着(啓発)
- ・補充教室の充実(設定)、放課後の補習の実施(随時)

○自己有用感の育成 と 地域・社会貢献意識の醸成

目標：各種調査結果に見られる自己肯定感、自己有用感の数値をあげる

- ・地域活動(ラジオ体操、町会夜警など)への積極的参加
- ・高齢者者施設の訪問交流
- ・地域清掃活動
- ・幼稚園、保育園との交流活動

○健やかな体の育成

目標：体力テスト各種目において平均値以上をめざす

- ・全校で取組スポーツ(〇〇旬間)の充実(短縄跳び、大縄跳び、マラソン)
- ・教員研修の充実

4 今年度の達成目標と具体的方策①

	目 標	方 策
学 習 活 動	基礎・基本の定着 (知識・技能の習得)	<p>○学習規律の確立と徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学びの姿勢を定着させる。 → 研究推進 P ・学習環境の充実 (ICT 機器の活用、教室掲示の工夫) を図る。 ・ノートの使い方 (めあて まとめ ふりかえり) を定着させる。 <p>○朝学習 (モジュール) の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 3 回 1 5 分 (火・水・金曜日) の「朝学習の時間」を設定し、新出漢字の学習時間とする。 <p>○家庭学習 (学年×10分) の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた学習課題を提供し、児童に家庭学習の習慣化をせまる。 ・保護者への情報発信を行い、家庭学習を定着させていく。 <p>○授業時間外の学習指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月 1 回 (年 1 0 回) 「補充教室」を設定し、基礎・基本の定着を図る。 ・夏季休業中に「夏の補充教室」を設定し、基礎・基本の定着を図る。
	課題解決能力の育成 (思考力・判断力・表現力等の育成)	<p>○主体的・対話的で深い学びを意識した学習活動の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の年間指導計画・評価計画に基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用を図る。 ・「追究」まで広げる授業を実現するとともに「考えさせる授業」を大切にする。 ・見通しをもたせるために 1 時間の授業の流れを板書するなど、指導者の発問・指示・説明を精選した授業を展開する。(授業時間 4 5 分の厳守) <p>○タブレット P C、デジタル教科書の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習ツールとしてタブレットを活用する。 → 活用のノウハウを校内で共有化 ・デジタル教科書 (国語、社会、算数)、デジタル教材を活用する。 <p>○全学年で算数少人数指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを実感させながら、「学習意欲」を高め、学習内容が分からない子「ゼロ」を目指す。 ・全ての学年で習熟度別少人数指導を実施する。 【 1・2 年】 3 学級 4 展開 (担任+指導工夫改善講師の 4 名) 【 3 4 5 年】 3 学級 5 展開 (担任+算数少人数+指導工夫改善講師の 5 名 学力向上支援講師 1 名は TT 配置) 【 6 年】 2 学級 4 展開 (担任+算数少人数+家庭科専科の 4 名 学力向上支援講師 1 名は TT 配置) <p>○国語辞典の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 年生以上の児童一人一人に国語辞典 1 冊を持たせ、辞典で調べる活動の習慣化を図り、言語活動を充実させる。

4 今年度の達成目標と具体的方策②

	目 標	方 策
生活指導 ・ 進路指導	規範意識の確立	<p>○基本的生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のルールについて、丁寧な指導を行う。集団指導と個に応じて見届ける指導にメリハリをつけながら指導を徹底する。 □あいさつの励行（小中合同あいさつ運動、あいさつ週間の充実） □履物をそろえる（靴箱かかと整え） □廊下歩行（右側通行） □遅刻防止、時刻の厳守と5分前行動 □呼名と返事「はい」
	道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成	<p>○「特別の教科 道徳」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座、研修会を実施して、教員は道徳授業の改善と指導力の向上を図る。 ・保護者、地域には、引き続き「特別の教科 道徳」についての理解啓発を図る。
	自尊感情や自己肯定感の醸成	<p>○元気会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた役割を担わせ、自己有用感を高めていく。 ・元気会集会（年間10回程度）、つくって遊ぼう集会（1回）を実施する。 ・元気会を核とした全校遠足を実施する。 <p>○好ましい人間関係の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QUTテストを実施（3年以上）し、きめの細かい指導をする。 ・「自分も他者も大切に作る行動」や「地域に貢献する行動」の基礎を養うため、地域の方々との交流活動をすすめる。
	いじめ、不登校、問題行動、人権侵害などへの早期対応体制の確立	<p>○組織的な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏見や差別をなくし、互いの違いや異なりを認め、良さを認め合う人権教育を充実させる。 「自分も他者も大切に作る」 「いじめは絶対に許さない」 「いじめを見て見ぬふりはしない」 「いじめを受けている子を絶対に守る」 ・けが・事故及びトラブルが発生したときには、報連相と事実関係を保護者に速やかに連絡 ・1に「相談」、2に「連絡」、3に「報告」の徹底（4に「記録」） （留意） その日にできることを最大限行う（寝かさない、金曜日は特に注意） 正確で公正な実態把握、短期的・中期的な対応 教職員間の共通理解と組織的な対応及び保護者・関係機関との連携 ・スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、担任等のカウンセリング機能を充実させる。 → 5年全員面接：SC 3年全員面接：心のふれあい相談員

4 今年度の達成目標と具体的方策③

	目 標	方 策
学 校 運 営	特別支援教育の充実	<p>○特別支援教室巡回指導の充実（みなみルーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導の成果と課題を明確にし、拠点校の役割を着実に担っていく。 ・本校・巡回校の教職員、保護者への情報発信に努め、特別支援教室の役割を明確にしていく。 <p>○困難を抱えている児童への指導の充実（個別最適化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実践していくとともに、個に応じた指導の工夫を図る。 ※ 黒板横カーテン（前面すっきり） ・個別の指導計画の作成し、みなみルーム担当教員、スクールカウンセラー等との連携を図る。
	外部機関との連携	<p>○小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『3つの学びスキルをもった「学びの主体者」』を目指す15歳の姿として、豊玉中学校、豊玉小学校と連携していく。 ※ 3つの学びのスキル ①「PDCAサイクルを回す」②「意見をもって、対話で深める」③「学をつなげる」 ・中学生のリトルティチャー（夏の補充教室）、小中合同あいさつ運動、児童生徒作品を推進する。 <p>○幼保小との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児、保育園児との交流活動を実施するとともに、幼稚園、保育園との情報共有を図る。 <p>○地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トミーズまつり（学校応援団）ふれあい広場（豊南小地域委員会）等への協力、参加を充実させていく。
	<p>ライフワークバランス</p> <p>※目標値 超過勤務 月45時間以内 (毎日20時前に退勤) 年360時間以内</p>	<p>○教育活動、校務等の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務等のマニュアル化を図り、無駄を省き、着実に校務を進められるようにする。 ・学校閉庁日（5日）の設定、夜間電話対応など、環境を整えていく。 <p>○サービス事故防止研修、ミニ研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回、長期休業前にサービス事故防止研修を実施する。 ・月1回、サービス事故防止のためのミニ研修を実施する。 ・会計事故防止にむけた監査体制を確立する。 ・指導要録整理の作業日の設定、定期的なチェック、個人文書の整理、机上整理等を通して、個人情報等の管理を徹底する。

4 今年度の達成目標と具体的方策④

	目 標	方 策
特 別 活 動 ・ そ の 他	自主的、自律的な力の育成	<p>○特別活動（学級活動、児童会活動、学校行事等）の充実・・・「一緒にやって、子供に任せて、ほめる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた学級活動を実施するとともに、児童の考え、意見を大切に活動した活動を心がける。 ・児童一人一人に役割を意識させる指導をする。 ・キャリアパスポートを活用し、児童が自分の成長を実感できるようにする。
	健やかな体の育成	<p>○体力テストの分析と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト実施後、本校児童の傾向を知るために結果の分析を行い、分析結果を体育にいかしていく。 <p>○短なわとび、大縄跳び、マラソン等の取組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業と関連を図って取組ませる。取組み期間後も児童が続けて運動できる環境を整える。 <p>○アスリートの招聘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスリートの話やともに運動することで、スポーツの素晴らしさ、努力することの大切さに気付かせる。
	読書習慣の定着	<p>○読書旬間の設定と読書環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館協力員と連携し積極的な学校図書館の活用を図る。 ・1・2年生は、週1回15分（水曜日）の朝読書の時間を設定する。3年生以上は読書旬間の時期のみ設定する。（学期に1回 年3回の読書旬間、各学年に「おすすめ本リスト」を作成、団体貸し出しの利用）
	日本の伝統文化に親しむ心の醸成	<p>○「百人一首」季節の一句の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに百首暗記を目標に、1年生から段階的に百人一首を暗記していく、暗記週間の設定や環境を整える。 ・百人一首（カルタ会）を楽しむ機会を設定する。 ・俳句づくりの経験を通して、情景や情感を限られた言葉で表現する難しさと楽しさを味わう。 ・「季節の一句」として、年4回、俳句を全校が同じ題で取組む機会を設ける。 <p>○伝統文化や伝統行事等の体験的活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた体験的な活動を積極的に実践する。 （練馬大根、たくあん漬、能体験、美しい日本語、みそづくり、菊づくり、など） ・端午の節句、七夕、お月見、ひな祭り等、日本の年中行事に合わせた環境をつくる
	共生と地域・社会貢献意識の醸成	<p>○地域人材、地域資源の学習への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターと連携し、学年、教科に応じて、ゲストティーチャー等を招き、学習内容を深める。 ・地域の店舗、施設等の訪問、見学活動を積極的に行う。 ・地域への働きかけ（クリーン運動、作品掲示、情報発信等）を充実させる。

4 今年度の達成目標と具体的方策⑤

	目 標	方 策
能力開発 (OJT、研修・研究、自己啓発)	授業力の向上	<p>○校内研究、校内研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の思いや考えを正しく伝えることのできる児童の育成」を主題に、国語の学習について、年間6回の研究授業を実施する。 ・校内研修のための時間を設定する。 ・連絡会、研修会の資料提供、ミニ報告会を実施し、教職員間で出張研修の成果を共有する。 ・OJT研修を随時実施する。 <p>○教員相互の授業参観の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次研修の参観授業、自己申告に関連する授業参観等を活用して、教員が相互に授業参観できるようにする。 <p>○ICT機器を活用した学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器（大型テレビ 書画カメラ）を活用し、指導内容・方法・体制の工夫を図る。 ・デジタル教科書（国語、社会、算数）、デジタルコンテンツを活用する。 ・タブレットPCの活用に向けた研修会を実施する。
開校60周年	豊玉南小学校、地域への愛を育み、進取の精神を養う	<p>○新しい時代へ はばたく豊南 ～ Chance Challenge Change ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域の協力を仰ぎながら、各種事業等を行うことを通して、愛校心、郷土愛を育む。 ・集会や記念行事を進める際に、児童の自主性を育み、達成感をもたせられるようにする。 <p>児童集会：6月12日（土） 記念式典：10月30日（土） 記念誌作成：1学期中 環境整備：1学期中</p>